

# 事務事業評価シート

(H.30)No.	5040	(H.29)No.	5040
-----------	------	-----------	------

事務事業名	中学校管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育総務室	内匠 勝也	

会計区分	事業コード	480502
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	中学校管理費	
項 中学校費	(小事業名)	
目 中学校管理費	中学校管理費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施策	1	学校教育
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
中学校の円滑な運営を図ります。
事業内容
中学校にかかる維持管理等の一般諸経費 ・中学校施設管理消耗品 ・中学校施設光熱水費 ・中学校施設設備修繕、営繕費用 ・中学校施設設備、保守点検等委託料 など

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	中学校(5校)施設設備の管理・保守・営繕等経費 ・光熱水費17,855千円 ・施設・設備営繕費等13,515千円 ・保守点検、維持管理委託料8,162千円 ・設備関係リース料187千円 ・その他(消耗品、備品等)4,694千円	中学校(5校)施設設備の管理・保守・営繕等経費 ・光熱水費21,400千円 ・施設・設備営繕費等8,670千円 ・保守点検、維持管理委託料9,599千円 ・設備関係リース料1,696千円 ・その他(消耗品、備品等)5,045千円	中学校にかかる維持管理等の一般諸経費 ・中学校施設設備の管理・保守・営繕等経費 ・光熱水費・営繕費・保守管理委託料・設備関係リース料等・12条点検(3年に1度)

H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)
中学校施設設備の管理・保守・営繕等経費 ・光熱水費・営繕費・保守管理委託料・設備関係リース料等 (3年に1度)	中学校施設設備の管理・保守・営繕等経費 ・光熱水費・営繕費・保守管理委託料・設備関係リース料等	中学校施設設備の管理・保守・営繕等経費 ・光熱水費・営繕費・保守管理委託料・設備関係リース料等

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		44,705千円		46,410千円	48,500千円	46,000千円	46,000千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他( )		146		193	243	243
	一般財源	0	44,559	0	46,217	48,257	45,757
人工数	職員		0.46人	0.46人	0.46人	0.46人	0.46人
	臨時職員等		0.20人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
②概算人件費	0千円	3,764千円	0千円	3,764千円	3,764千円	3,764千円	3,764千円
①+②総事業費	0千円	48,469千円	0千円	50,174千円	52,264千円	49,764千円	49,764千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
施設設備等の維持・管理のための必要経費の負担及び法律等で義務付けられている保守点検等を実施しました。施設の老朽化が進行しているなかで、必要な修繕等が年々増加していますが、安全で快適な教育環境の整備に努め、中学校の円滑な運営が図れるよう先を見通した整備が必要です。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
生徒の学習環境を整備するため、限られた予算のなかで、引き続き適切な維持管理を行います。老朽化が進行するなかで、施設改修や学習環境の改善、施設のユニバーサルデザインや災害時の緊急対応等、中学校の円滑な運営のためには多額の経費が必要となりますが限られた予算のなかで一層計画的な対応が必要です。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョン